

目標達成計画

作成日:平成29年4月20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	地域の防災訓練に参加しているが、事業所としての訓練は実施できていない。事業所の地域性に合わせた災害マニュアル等は細微されていないが現在作成中。	隣接する小規模多機能と連携し、各災害を想定した避難訓練を実施する。また、夜間帯の防災、避難訓練を小規模多機能と合同で実施する。	年2回の避難訓練を行っている(地域との連絡を取りながら年1回実施) 運営推進会議で、地域の一員としてどう臨機応変に対応するか協議して、小規模多機能と合わせ、常に協力する旨を確認する。また、事業所の防災、避難訓練実施についても話し合う。	6ヶ月
2	23	要望等の確認は家族面会時に行っている。入居時にアセスメントを実施し、計画や目標は6か月毎に見直し変更が行われている。しかし、アセスメントの更新がプラン作成毎にされていない。	認知症のお年寄りを理解する。その人の理解に主眼を置き、利用者のシグナルを理解できるようなアセスメントに心がけ、本人の生きる意欲を引き出せるようにチームケアに繋げていく。	センター方式のツールを活用し、アセスメントをとり、常に本人にとってどうかを探って、支援に繋げる。 月1回のホーム会議でセンター方式の見直しを行う。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。